

□ 情報提供項目

市民文芸賞の募集やべっぴんグルマンフェスタ、レクイエム・プロジェクト北いわて 2023 など各種イベントを市長からお知らせした。

□ 記者との質疑応答

記者 琥珀博物館の記者会見だが、オンラインの会見は個別か。それとも久慈琥珀に集まってみる形になるのか。

市 申し込みをすると URL が届くので、各自で確認いただくこととなる。イベントの補足だが、7月16日レクイエム・プロジェクト北いわて 2023 は、10年目の区切りのコンサートにもなるということなのでお知らせする。

記者 本日から津波避難計画の説明会が開催されるということだが、今回の説明会で改めてどのような内容になるか、津波避難計画の策定とも絡んでくると思うが、作業状況とあわせて教えてほしい。

市 第2回説明会になるが、3日～7日までの5日間で開催。時間は午後6時からとなっており、3日と4日が防災センター、5と6日が中央市民センター、7日が宇部市民センターで開催することとしている。津波避難計画の進捗状況だが、現在、計画の素案をおおむね完了。避難目標地点、避難経路、特定避難困難区域の設定などを扱うところである。前回の住民説明会等でいただいた意見を反映させ、今回の説明会で説明することとなっている。また、市の取り組みについても併せて説明することとしている。内容については避難経路の新たな追加や避難施設等の整備などをお話していくこととなる。今後のスケジュールについては、本日から説明会を経て津波対策検討委員会で審議をいただき、8月にパブリッシングコメントを実施。更に審議をいただき策定という流れになっている。

記者 最終的には説明会后、有識者の検討委員会にかけ、防災会議で了承を経て8月末に策定するという事か。

市 そのとおりである。

記者 大槌町が避難場所や避難エリアだけでなく、避難方法について自動車避難について記述があり、6月30日に町の防災会議で取り上げたが、久慈市はその計画の予定は盛り込むことはないということか。

市 検討委員会でも今後検討することとしている。県の検討会議でも検討事項として挙げられているが、現時点では車避難の方針を掲げる予定はなく原則徒歩でと、お願いしている。

記者 1日の土曜日から素潜りの定期実現も4年ぶりに再開された。あまちゃん10周年の関係もあり土日盛況だと伺っている。あまちゃん10周年と久慈市の観光、北限の海女、夏休みに入りお越しになられる方もいると思う。秋のイベントを控えていると思うが、期待感を含めて改めてお話しいただきたい。

市 あまちゃんの放映から10年目でBSの再放送が始まっている。海外でも台湾、香港、韓国でも放送され、海外からのお客様もお見えになっている。コロナの位置づけが5類感染症となったタイミングで、あまちゃんブームの再来となり大いに期待している。9月

の秋まつりは、4日間のいつものスケジュールで行うということもあり、久慈の観光ブームはまだしばらく続くものと思っている。これを次の10年にしっかりとつなげられるように、関係者と相談しながら、来年度以降の実施についても検討して行きたいと思っている。小袖の海女の素潜りもスタートが良かったので、これからも期待している。

記者 次の10年という中長期的なスパンを見据えた意見がでたが、どのような効果の持続性の取り組みを考えているのか。

市 関連の番組制作の話も、これからもお願いしていきたい。地元としても久慈に来るとあまちゃんの雰囲気になれるという仕掛けを作っていかなければならないと思っている。イベントを行い、来ていただいたお客様をお迎えする体制はこれからはしっかりやっていきたいと思っている。9月23日コンサートでまた全国からたくさんの方がいらっしゃる。直前には秋まつり。秋まつりやまめぶ、琥珀、北限のあま、全部あまちゃんの中にあるテーマである。これからも相談して連携していきたい。

記者 あまちゃんを活用していくということか。

市 久慈はあまちゃんが最大の、観光だけでなく地域振興やまちづくりにとっても、すごく大きな題材だと思っている。